岐阜大学
GIFU UNIVERSITY

未来にまっすぐ
岐阜大学 起業プログラム
アントレプレナーシップ教育

どんな未来を生きるのか

海図なき時代、渡りゆく力をここで。

未来にまっすぐ 岐阜大学 起業プログラム
GIFU UNIVERSITY ENTREPRENEURSHIP PROGRAM

国立大学法人 東海国立大学機構 岐阜大学
学術研究・産学官連携推進本部
URL https://tongali-gifu.net/

岐阜大学で育む起業家精神とは

将来予測が極めて難しい時代

急速なテクノロジーの進展、新たな感染症の流行、大規模な自然災害―― 私たちの社会は近年、新たな変化や課題に次々と直面しています。また、地球環境問題、紛争やテロ、巨大な富の偏在など、複雑でグローバルな課題も多く、将来を予測することが極めて難しい時代を迎えています。

起業家精神をもつ人材を育成・輩出

このような状況下だからこそ、私たちは、既存の枠を超え自ら行動を起こし、新たな価値を生み出していく起業家精神（アントレプレナーシップ）を、社会全体で醸成していかなければなりません。そして特に日本の未来を担う学生の皆さんこそが、その精神を養っていかなければなりません。

岐阜大学の起業関連プログラムは、こうした問題認識に基づき、2017年にスタート。2020年には、起業関連授業が開講し、また大学公認の「起業部」が発足、活動を活発化させています。これまで岐阜は、決して起業の盛んな地域ではありませんでした。しかし、本学の起業部がハブとなり、イノベーションを創出する動きが現れ、その動きが徐々に他の学生や教職員、地域社会や企業にも広がりつつあります。

このムーブメントをさらに拡大し、地域経済の活性化、新産業創出へとつなげていくために、起業関連プログラムを今後さらに強化していきます。

岐阜大学アントレプレナー育成プログラム

【プログラム内容】

野心的な受講生の皆さんを対象に、視野拡大・意識改革を促す「マインドセットステージ」から一人ひとりが自ら課題を発見し、解決法などアイデアを生み出す「コンピテンシー形成ステージ」、アイデアの具現化・事業化に向けた取り組みを行う「社会実践ステージ」までを行います。

社会実践ステージ
■実践の機会 ●仮説検証（プロトタイプ/MVP制作・顧客ヒアリングなど）
●ビジネスコンテスト出場・専門家指導によるビジネスプランのブラッシュアップ（ビジネスモデル確度向上など） ●スタートアップ起業を目指す学生への個別伴走支援

コンピテンシー形成ステージ
■課題発見・課題解決に必要な知識やスキルの習得 ●専門家による専門/汎用知識や実践/基礎スキル講座
■アイデア創出（デザイン思考・リーンスタートアップ等実践） ●受講生自ら課題を発見し解決策を考案
●グループワークや社会人メンターとの壁打ち

マインドセットステージ
■不確実性の高い環境下で行動していくマインド醸成
■社会に存在する課題への気づき ■自分の興味関心への気づき
■視野拡大・意識改革 ●学生起業家や若手経営者を招いた講演会・座談会

教養科目:アントレプレナーシップ関連授業

岐阜大学では、全学共通教育の教養科目として前期に「アントレプレナーシップ入門」の講義を行っています。

本授業では、ビジネスに関わる基礎的事項や、実際に起業した先輩の講演を通してアントレプレナーシップの学びを深めた後、受講生自身がビジネスアイデアを考え、グループワークを通じてブラッシュアップし、最終的に自分の見つけた課題や解決策を発表します。

【アントレプレナーシップ入門】
前期・月曜日・3時限
※詳しくはシラバスをご覧下さい

本学の取り組みは多くのメディアにて紹介されています！

NHK、YAHOO! JAPAN、Forbes JAPAN、NEWS PICKS、
日本経済新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、中日新聞、中部経済新聞　その他、多数掲載！

岐阜大学 高等研究院　教授
岐阜大学公認 起業部　顧問
アントレプレナーシップ教育担当教員

上原 雅行

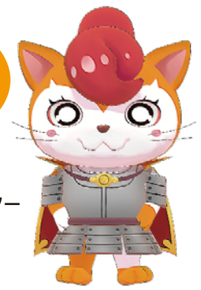
変化が激しく先行き不透明な社会情勢において、能動的に新たな試みに取り組んで行動し、新しい価値を提供する起業家的能力『アントレプレナーシップ（起業家精神）』がいま求められています。

岐阜大学では、近年、このアントレプレナーシップを学ぶ環境を整えてきました。ぜひ、ご参加いただき、未来を切り拓く『力』を身につけて充実した学生生活、そして幸せな人生を歩んで頂ければ幸いです!

我々大学スタッフも皆さんを全面的にバックアップしますので、お気軽に参加してください!

本教育プログラムが日経BP「大学選び 入試と学部のいまが分かる本」に掲載！

一緒に
アントレプレナーシップを
学びましょう!



岐阜大学起業部公式キャラクター
東海ニャントレプレナー（ニャントレ）

中部地域初!! 岐阜大学公認 起業部

岐阜大学起業部

部員数 30名（2025年3月末時点）

活動内容

社会の課題解決のための事業創出を担う起業家精神（アントレプレナーシップ）を持つ人材の育成・輩出を目的とし、部員の経験・知識を共有、刺激し合うことで成長を促すコミュニティとしての役割を担います。起業やマーケティングなどに関する勉強会を行うほか、他大学や起業家とも交流することで、部員の視野拡大やビジネスへの意識を高めます。主体的な学生のアクションを教員や地域の経営支援機関がサポートし、新しいビジネスの創出および地域経済の活性化を図ります。

主な実績 ※この数年、中部地域のほぼ全ての主要ビジネスコンテストで受賞！

- キャンパスベンチャー グランプリ（CVG）全国大会 文部科学大臣賞（2020年度）ほか
- 第13 回 ビジネス創造コンテスト（全国規模） 最優秀賞（全国1位）
- 大学SDGs ACTION! AWARDS 2023（全国規模） 準グランプリ（全国2位）
- SDGs探求AWARDS2022（全国規模） 学生部門最優秀賞（全国1位）
- みやぎハッカソン2023（全国規模） 優秀賞（全国2位）
- キャンパスベンチャー グランプリ（CVG）中部大会 大賞（1位）（2020年度、2021年度）
- Tongaliアイデアピッチコンテスト 最優秀賞Tongali賞（1位）（2021年度、2022年度）、Tongali賞（3位）（2024年度）
- Tongaliビジネスプランコンテスト 最優秀賞（2022年度）、優秀賞/3位/5位（2023年度）

etc…

起業部Xはこちら

https://twitter.com/gidaikigyoubu

主な『岐阜大学 起業部発スタートアップ』

Chosokabe Shunya

FiberCraze株式会社 代表取締役社長

長曽我部 竣也さん

起業部OB（自然科学技術研究科 物質・ものづくり工学専攻 2023年3月卒業）

自身が研究に従事した世界初技術の可能性に惹かれ、仲間とともに製品化を始める。防虫・保湿・抗ウイルスなど、あらゆる機能を持つ繊維やフィルム素材を開発中。2021年1月「キャンパスベンチャーグランプリ」で同プランを発表し、全国2位（文部科学大臣賞・テクノロジー大賞）を受賞。「埋もれていた技術の新たな価値を見出し、社会に繋げることで未知なる可能性を発揮する」という思いのもと大学院在学中の2021年9月、23歳で起業。
2023年、「Forbes JAPAN 30 UNDER 30 2023」に選定。起業部 初代部長。

Natsume Itsuki

株式会社artkake 代表取締役社長

夏目 一輝さん

地域科学研究科 地域政策専攻 2年(修士課程)(2025年4月時点)

姉の芸術大学卒業制作展に行った際に同世代の表現に感動したものの、ほとんどの作品が世に出ず家にしまってある、最悪の場合、捨てられてしまうことに衝撃を受けた。この問題を解決すべく、2022年9月に起業。現在は取り組みの幅を広げ、「才能を育て、文化を創る」というビジョンのもと、アーティストマネジメントプラットフォームの「Enushi」を開発。企業向けにもアートのサブスク事業を展開し、展示機会の創出やアート効果の可視化に挑戦している。2024年12月松坂屋名古屋店に常設ギャラリーを設置。

Sugimoto Ryota

Umai Japan株式会社 代表取締役

杉本 稜太さん

応用生物科学部 生産環境科学課程 4年(2025年4月時点)

「地域一体となって農業を活性化させ、Japan qualityを世界へ発信する」というmissionのもと、2023年7月にUmai Japan株式会社を設立。自社の柿農地も保有し、生産から販売までを一気通貫で行い、海外への輸出も積極的に行っている。スマートグラスによる収穫機器などのスマート農業機器も開発中。当社が提供する「Umai KAKI」はJAL国際線ファーストクラスに採用されたり、NYの有名スイーツ店と期間限定でコラボをしたりとグローバルに展開をしている。国内ではヤマナカFrante(東海地域)や信濃屋食品館(東京都)などで販売されている。
起業部(2022年～)

Ito Shion

合同会社たべものや 代表

伊藤 思音さん

応用生物科学部 応用生命科学課程 4年(2025年4月時点)

農家や農業事業者の売上拡大へ貢献するため、バイヤー・エンドユーザーに刺さるWEBマーケティング支援を行っている。現在では、特に東海付近の農家・農業事業者に対して支援を行っており、農家・農業事業者向けにHP制作・ECサイト制作・SNS運用を行っている。バイヤー向けのWEB制作を行うため、2024年度では、日本を含めた10カ国のバイヤーやエンドユーザーと対談し、各国の嗜好について調査を行った。「Tongaliアイデアピッチコンテスト2022」Tongali賞・海外チャレンジ賞受賞。 「第13回ビジネス創造コンテスト」 最優秀賞（全国1位）・グローバ ルビジネス賞受賞。「SDGs探求AWARDS2022」最優秀賞受賞。「大学SDGsACTION!AWARDS 2023」準グランプリ賞受賞。「キギョウカコンテスト」優秀賞受賞。起業部(2021年～)。

活躍する起業部の皆さん

佐藤 愛さん
応用生物科学部 生産環境科学課程　4年

岐阜大学起業部4代目部長。学部1年次にはバス通学時の混雑解消を目的に、“帰ってきた!トラフィレンジャープロジェクト”を立ち上げ、岐阜乗合自動車株式会社との協議や、岐阜大学生協と共同で次年度新入生向け通学冊子の作成等に取り組んだ。また、学部3年次には地域農業の後継・データ技術未浸透の課題を解決するべく、“農家が粒立つ社会”を目指し、岐阜大学工学部松下光次郎准教授の研究室の学生とともに株式会社ユニークアグリを設立。現在は農業IoT機器、生育調査アプリの開発に取り組んでいる。

三宅 漣さん
工学部 電気電子・情報工学科 情報コース　3年

岐阜大学起業部5代目部長。生まれ育った岐阜の地を盛り上げたい一心のもと、学内外を超え様々なプロジェクトへ参画する。現在はイベントやお祭りが地域・コミュニティに与える影響と運営の効率化に関心を持ち、関連する課題の解決に取り組んでいる。「2023夏STAPS」STAPS優秀賞。「Tongaliアイデアピッチコンテスト2023」三菱UFJ銀行賞・JR東海賞・OKB賞・博報堂プロダクツ賞。「第5回ぎふビジネスアイデア・プレゼンテーション」準グランプリ受賞。起業部(2023年～)。

北川 愛子さん
地域科学部　3年

40以上の介護施設でのボランティア経験を通じ、孤独を感じる高齢者の支援を目指して活動を開始。2024年10月に「鶴舞シニアマニキュアサロン」を開設。「2023年夏STAPS」優秀賞、「Tongaliアイデアピッチコンテスト2023」企業賞4賞、「SW大垣2024」最優秀賞、「Tongaliアイデアピッチコンテスト2024」Tongali賞3位・企業賞2賞受賞。「OKB　SCLAMBアクセラレーションプログラム」や「あいち Startup Camp(BASIC/ADVANCE)「RED　CHUBUセミファイナリスト」採択。2025年2月「GIVELOVE」登記予定。起業部(2023年～)。

WE ENJOY OUR ACTIVITIES

玉城 洵弥さん
工学部 電気電子・情報工学科 情報コース　4年

これまでは主にプログラミングに取り組む。起業部のビジコンに参加し、ビジネスアイディアのデモWEBアプリケーションを開発。今後はAIやIoT技術を活用した新しいソリューションの創出に挑戦し、技術を通じて起業部にも還元していきたいと考えている。愛知県大学対抗ハッカソンにて審査員賞を受賞。NVIDIAのAI認定プログラム「Jetson AISpecialist」を取得。起業部(2023年～)

多田 陸人さん
社会システム経営学環　4年

三重県四日市市生まれ。遊休不動産の利活用とエリアの未来について、提案を通じた地域課題解決を目指す「第3回リノベーションスクール@岐阜」に高校生で参加。大学入学後は岐阜市内の古民家シェアハウスに約8ヶ月間入居。経営学を中心に勉強する傍ら、地芝居やお囃子の伝統芸能に取り組む。任意団体「岐阜町なりわい会議」の広報として、ビル・古民家のリノベや利活用についてSNSで発信中。起業部(2022年～)

船曳 巧馬さん
教育学部 技術教育科　2年

教育学部在籍中に、1年次の夏休みを活用してオーストラリア・メルボルンの小学校でインターンシップを行った。この経験を通じて、日本の教育が持つ優れた面だけでなく、多くの課題を強く認識した。現在は、その学びを活かしながら、日本の教育をより良いものへと発展させるためのアイデアピッチコンテストSTAPSなどさまざまな活動に取り組んでいる。「Tongaliアイデアピッチコンテスト2024」野村證券賞受賞。起業部(2024年～)

吉田 有輝さん
工学部 電気電子・情報工学科 情報コース　2年

部内の勉強会や学外のデータサイエンス講座に参加し、専門知識を深めている。また、様々な分野の人々と交流するほか、小中高生へのアントレプレナーシップ教育にも携わり、多様な視点を学んでいる。現在は、データを活用して旅行や趣味に関する情報を共有・交流できるプラットフォームの構築を模索している。起業部(2024年～)

佐野 ひかりさん
地域科学部　2年

岐阜県山県市生まれ。Webデザイン修行中。出身小学校廃校危機をきっかけに地域創生に興味を持ち、高校2年生から1年間Gifu lead meeting に参加。田舎の生き残り戦略を思案中。名工大アイデアソン second upオーディエンス賞、名古屋イノベーターズガレージpop up ideathon grage賞受賞。予選のプレゼンが評価され2024年Tongali アイデアピッチコンテスト司会抜擢。起業部(2024年～)

高安 陽大さん
地域科学部　2年

大学4年間で「人とは違ったことをやろう」と決意し、入部した。アントレプレナーシップ系イベントに積極的に参加した。また、授業の実習においては地元企業・NPOなどの協力のもと、まちづくりイベントを企画するなど精力的に活動した。現在は「まちづくり」「観光」など、以前から興味のある分野で何かできないかと思案しつつ、将来的に自分は何者になるのかを考えながら活動に参加している。起業部(2024年～)

※2025年4月時点